

釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略の将来展望に関する基礎データ

(1) 将来展望値（「素案のたたき台」時点）の影響内訳

	人口総数	構成比		
将来推計値(A)	106,088人	77.5%		
自然増分(B) (合計特殊出生率:1.35→2.07)	6,472人	4.7%	D(B+C) 30,868人	20.9%
社会増分(C) (転入:+10% 転出:-10%)	24,396人	17.8%		79.1%
将来展望値(A+B+C) (「素案のたたき台」時点)	136,956人	100.0%		

(2) 将来展望において「20～39歳の移動率を20%増」(2040年)として  
仮定（「素案」時点）したことによる影響

	2040年	2060年
将来展望値（「素案のたたき台」時点）	136,956人	122,698人
20～39歳の移動率を20%増 (「素案」時点)	138,369人	125,675人
差し引き	1,413人	2,977人

(3) 将来展望値の比較（「素案のたたき台」時点と「素案」時点）

【図表 20】（上段：「素案のたたき台」 下段：「素案」）

	平成 27 年 (2015)	平成 32 年 (2020)	平成 42 年 (2030)	平成 52 年 (2040)	平成 62 年 (2050)	平成 72 年 (2060)
人口総数	171,205	162,247	147,068	136,956	128,653	122,698
		162,390	147,714	138,369	130,831	125,675
年少人口	19,386	17,678	16,862	18,158	18,678	18,372
		17,695	16,988	18,470	19,083	18,816
生産年齢人口	100,320	89,749	77,797	69,045	65,795	66,119
		89,874	78,317	70,154	67,527	68,349
老年人口	51,499	54,820	54,409	49,753	44,180	38,207
		54,821	52,409	49,754	44,221	38,510